

知恵ビジネスプランコンテスト

京都の特性と企業の強みを活かして顧客創造を図る
事業プランを知恵ビジネスとして認定しています。



赤外線ネックレス



DLCガムローラー

大木 こうした炭素素材の特性を生かして、歯ぐきの温熱マッサージ器具を開発しました。

—「研究開発の内容は?」
大木 こうした炭素素材の特性を生かして、歯ぐきの温熱マッサージ器具を開発しました。
 —「炭素に注目されたきっかけは?」
大木 JR退職後塗料販売会社に勤務していましたが、趣味の絵画に樹脂コートイングしたのがきっかけで、独自のコーティング加工を施した美術工芸品の製造・販売会社を創業しました。しかし、合成樹脂を炭化してみたところ、熱伝導性に優れ成樹脂を炭化した。そこで、幼少時の炭焼きの経験からヒントを得て、試しに合成樹脂を炭化してみたところ、熱伝導性に優れ成樹脂を炭化した。そこで、幼少

創業以来、炭素の優れた機能や効果を生かす素材開発に取り組んできた(株)大木工藝。今回の知恵ビジネスプランコンテストでは、オリジナルのフッ素DLCで、イヤモンドライカーボン超高度炭素素材の開発力と、その特性を生かす最終商品の企画提案力が評価されました。

—「炭素の魅力とは?」
大木 以来、弊社は「炭素の持つ優れた組成的・化学的性質に着目して技術革新を図り、環境・医療・食料といった分野における社会課題の解決に役立てようと取り組んできました。これまで取得した特許は22件にも及びます。ダイヤモンドが「炭素」でできていることは、存じだと思いますが、炭素は、炭化の方法や使用する原材料などによって、さまざまな組織構造が生成され、高い電気伝導性・熱伝導性・遠赤外線放射・多孔質などの特性を有します。例えば、弊社の炭素素材を用いたネックレスは、遠赤外線によって血流量が増えて体を温めます。産学連携でその効果を調査研究し、遠赤外線協会から認定を受けました。

—「今後チャレンジしたいことは?」



高密度炭素金浄水装置

しました。歯ぐきの血流をよくすることで、歯周病や口内炎の予防などの効果が期待できるところから、現在、京都府立医科大学で基礎実験を進めています。また、電気自動車に搭載する非常に大きな容量の次世代蓄電池「キャパシタ」や超高度炭素製の釜で海水を真水化する浄水装置などの研究開発も続けています。

(株)大木工藝 代表取締役

大木 武彦さん



高機能炭素素材の開発

京商ニュース

京都商工会議所

〒604-0862
京都市中京区丸山通夷川上ル
☎075-212-6400
㈹075-255-1985
<http://www.kyo.or.jp/kyoto/>
■kyoto@kyo.or.jp
第27号(毎月2回発行)

OMRON

Sensing tomorrow™

www.omron.co.jp